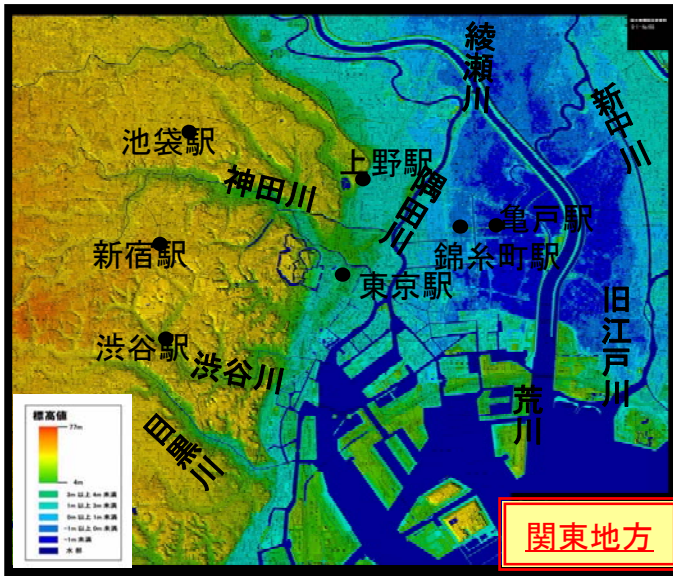
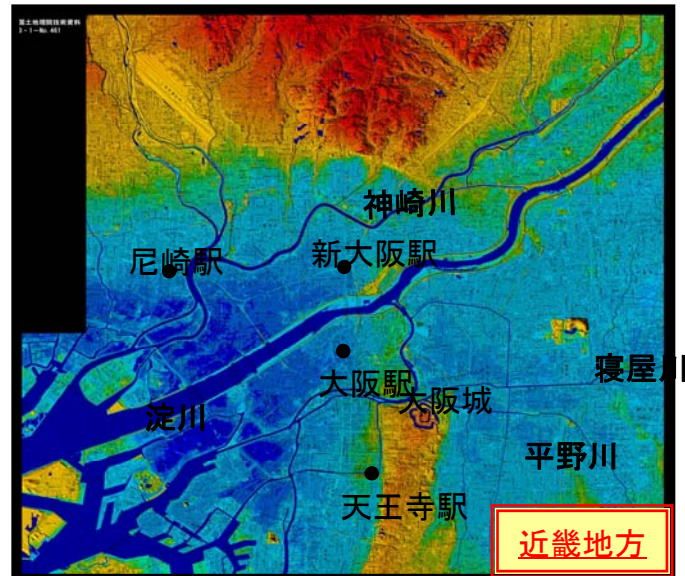


低平地に集積する人口・資産

参考資料



(出典) 国土地理院作成資料



我が国は、洪水時の河川水位より低い

約10%の土地に
約50%の人口と
約75%の資産を抱えている。

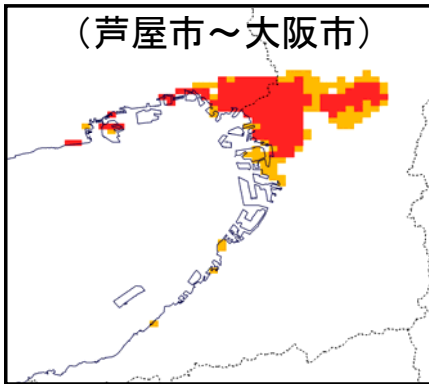
三大湾における海面上昇の影響

平均海面が59cm上昇した場合、三大湾(東京湾、伊勢湾、大阪湾)のゼロメートル地帯の面積・人口は**5割増大**すると予測される。

(海面上昇量59cmは、SRESシナリオより予測される世界平均海面水位の上昇量の上限を想定)

大阪湾

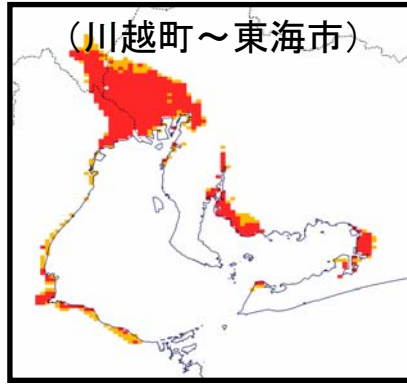
(芦屋市～大阪市)



138万人 (現状) → **211万人** (海面上昇後)

伊勢湾

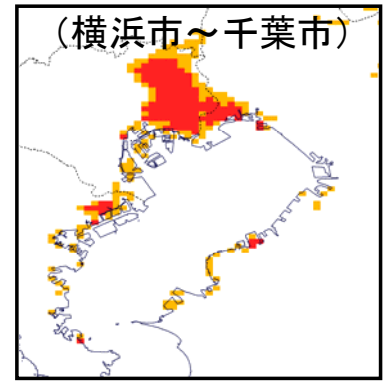
(川越町～東海市)



90万人 (現状) → **112万人** (海面上昇後)

東京湾

(横浜市～千葉市)



176万人 (現状) → **270万人** (海面上昇後)

※国土数値情報をもとに作成

※3次メッシュ(1km×1km)の標高情報が潮位を下回るものを図示。面積、人口の集計は3次メッシュデータにより行っている

※河川・湖沼等の水面の面積については含まない

※海面が1m上昇した場合の面積、人口の60%分を増分として計算

	現状	海面上昇後	倍率
面積(km ²)	577	879	1.5
人口(万人)	404	593	1.5

諸外国と比較して低い整備水準

治水安全度の確保状況

オランダ
(高潮計画)

完成(1985年)

イギリス
(テムズ川)

完成(1983年)

アメリカ
(ミシシッピー川)

達成率89%(2002年)

フランス
(セーヌ川)

完成(1988年)

日本

達成率約60%(2006年)

1回／100年

1回／500
年

1回／1000
年

1回／10000
年

1回／30～40年(大河川)

1回／ 5～10年(中小河川)

(当面の目標)

